

千歳市教育振興基本計画の概要

第1章 計画の策定

1 計画策定の趣旨 【原案2ページ】

千歳市では、これまで、学校教育の分野において、千歳市学校教育基本計画(2014～2020 年度)を策定するとともに、生涯学習の分野において、千歳市生涯学習基本計画(2011～2020 年度)を策定し、計画的に各種教育施策を展開してきました。

我が国の社会情勢は、少子高齢化の進展や国際化、情報化の進展、社会経済のグローバル化など、大きな変革の時代を迎え、人々の生活様式や価値観などがますます多様化・高度化していくものと予測されております。

このことから、未来を見据え、教育環境の整備や文化・芸術活動、スポーツ活動などへの支援を行い、未来を担う人づくりを推進するため、千歳市の教育目標や方向性を明らかにするとともに、これらに基づき、今日的な教育課題に対応するため、教育に関する施策を総合的・体系的に進めていくことを目的として、次期計画は、千歳市学校教育基本計画と千歳市生涯学習基本計画を統合して、新たに「千歳市教育振興基本計画」として策定します。

2 計画の位置付け 【原案2ページ】

この計画は、「千歳市第7期総合計画」(令和3年度～令和 12 年度)における学校教育分野及び生涯学習分野の個別計画として位置付けるとともに、教育基本法第 17 条第2項に定める「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」とします。また、計画中の文化芸術に関する分野は、文化芸術基本法第7条の2に規定する地方文化芸術推進基本計画を、スポーツに関する分野は、スポーツ基本法第 10 条に規定する地方スポーツ推進計画を考慮したものとします。

3 計画の構成と期間 【原案3ページ】

(1) 構成

千歳市教育振興基本計画は、今後目指すべき教育の基本的な方向性や取組等を明らかにするため、「基本目標」、「施策項目」で構成され、施策項目に沿って展開される主な取組に対する具体的な内容を示し、その達成度を学校教育や社会教育に携わる方々をはじめ、市民の皆さんに分かりやすく示すため、目標指標を設定しています。

(2) 期間

計画期間は、2021 年度(令和3年度)から 2030 年度(令和 12 年度)までの 10 年間とし、社会経済情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
教育振興基本計画(国)												
北海道教育推進計画(道)												
			千歳市第7期総合計画									
			千歳市教育振興基本計画									

4 計画の点検・評価 【原案3ページ】

計画の推進に当たっては、PDCAサイクルの考え方に基づき、毎年度、計画に基づく教育施策の実施状況等について点検・評価を行い、その結果を翌年度以降の施策に反映させながら、実効性のある計画の推進に努めます。

5 施策の継続性 【原案3ページ】

千歳市では、これまで、千歳市学校教育基本計画及び千歳市生涯学習基本計画に基づき、各種施策を推進してきました。

新たに策定する千歳市教育振興基本計画は、各計画の基本理念等の趣旨を受け継ぎ、次の時代へ発展させていくことを基本とし、これまで取り組んできた施策の継続性を重視するとともに、さらなる充実に向けた取組を推進します。

第2章 教育を取り巻く社会情勢と千歳市の教育の現状

1 教育を取り巻く社会情勢 【原案6～7ページ】

- (1) 少子化・高齢化
- (2) 人口移動と家族形態
- (3) ICT等の進歩と社会のグローバル化
- (4) 経済・社会構造の変化

2 千歳市の子どもたち(小中学生)の現状 【原案8～12ページ】

- (1) 学力
- (2) 体力・運動能力、運動習慣
- (3) 基本的な生活習慣
- (4) 規範意識
- (5) いじめ・不登校
- (6) 自己肯定感
- (7) 読書活動
- (8) 地域活動への参加
- (9) 特別支援教育

3 市民の社会教育活動の状況 【原案 12～13 ページ】

- (1)社会教育関係団体の活動
- (2)生涯学習・社会教育に対する市民の意識

4 教育環境の状況 【原案 13～16 ページ】

- (1)学校運営
- (2)教員
- (3)学校施設
- (4)社会教育指導者
- (5)社会教育施設
- (6)学校と地域の連携・協働
- (7)家庭の教育力
- (8)ふるさと教育・地域課題解決学習

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念 【原案 18 ページ】

教育を取り巻く社会情勢の変化や教育の課題を踏まえ、千歳市第7期総合計画における教育分野の目標「充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち」を実現するため、本計画が目指すべき基本理念を次のとおり定めます。

「未来を拓く つながりの教育による ふるさと千歳を育む」 人づくり

2 計画の呼称 【原案 19 ページ】

「千歳市教育振興基本計画」
～ まるごと千歳・すべての学びを支えるまち ～

3 計画の基本目標 【原案19～22 ページ】

千歳市教育振興基本計画では、基本理念に基づき、「7の基本目標」と「41の施策」を次のとおり定めています。

【基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進】

- ① 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実
- ② 確かな学力の育成
- ③ 特別支援教育の充実
- ④ 外国語教育・国際理解教育の充実
- ⑤ 情報教育の充実
- ⑥ キャリア教育・体験的な活動の充実
- ⑦ 防災・安全教育の充実

【基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

- ⑧ 道德教育の充実
- ⑨ いじめ・不登校に対する取組の充実
- ⑩ ふるさと教育の充実
- ⑪ 読書活動の推進
- ⑫ 体力・運動能力の向上
- ⑬ 食育の推進
- ⑭ 健康教育の推進

【基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実】

- ⑮ 学校運営の充実
- ⑯ 学校施設・設備の充実
- ⑰ 学びのセーフティネットの構築
- ⑱ 教員の研修の推進
- ⑲ 家庭教育支援の充実
- ⑳ 学校と地域の連携・協働の充実
- ㉑ 学校段階等間の連携・交流の充実

【基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進】

- ㉒ 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実
- ㉓ 学習情報と市民活動交流センター機能の充実
- ㉔ 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
- ㉕ 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実
- ㉖ 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

【基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実】

- ㉗ 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実
- ㉘ 青少年の自立と成長を育む学びの充実
- ㉙ 青少年非行防止への取組の推進
- ㉚ 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実
- ㉛ ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実
- ㉜ 社会教育施設機能と読書環境の充実

【基本目標6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承】

- ㉝ 文化芸術に親しむ環境の整備
- ㉞ 地域に根差した文化芸術活動への支援充実
- ㉟ 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援
- ㊱ 文化財の活用の推進
- ㊲ 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進

【基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進】

- ③8 スポーツ活動の啓発と参加促進
- ③9 スポーツに親しめる機会の充実
- ④0 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成
- ④1 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

4 基本目標の体系 【原案 23 ページ】

基本目標	施策項目
1 社会で生きる力を育む教育の推進	1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実
	2 確かな学力の育成
	3 特別支援教育の充実
	4 外国語教育・国際理解教育の充実
	5 情報教育の充実
	6 キャリア教育・体験的な活動の充実
	7 防災・安全教育の充実
2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	8 道徳教育の充実
	9 いじめ・不登校に対する取組の充実
	10 ふるさと教育の充実
	11 読書活動の推進
	12 体力・運動能力の向上
	13 食育の推進
	14 健康教育の推進
3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実	15 学校運営の充実
	16 学校施設・設備の充実
	17 学びのセーフティネットの構築
	18 教員の研修の推進
	19 家庭教育支援の充実
	20 学校と地域の連携・協働の充実
	21 学校段階等間の連携・交流の充実
4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進	22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実
	23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実
	24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
	25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実
	26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実
5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実	27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実
	28 青少年の自立と成長を育む学びの充実
	29 青少年非行防止への取組の推進
	30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実
	31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実
	32 社会教育施設機能と読書環境の充実
6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承	33 文化芸術に親しむ環境の整備
	34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実
	35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援
	36 文化財の活用の推進
	37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進
7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進	38 スポーツ活動の啓発と参加促進
	39 スポーツに親しめる機会の充実
	40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成
	41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

5 学校教育分野と生涯学習分野における施策の連携 【原案 24 ページ】

(1) 連携する施策の考え方

近年、家庭の教育力の向上や子どもたちの安全確保、コミュニティ・スクールの導入、学校支援地域本部事業の実施など、今日的な教育課題への対応に当たっては、学校・家庭・地域が連携して、社会総がかりで教育に関わることが重要となっています。

このため、子どもたちが生き生きと学び成長し、市民一人ひとりが生涯にわたって学習し、その成果を地域で生かし、ふるさと千歳の未来につなげることができるよう、学校教育や生涯学習に関する施策を総合的・体系的に推進するとともに、「連携する視点」を次のとおり明確化し、施策相互の相乗効果を促すこととします。連携する視点は次の3分野とし、期待される効果を次のとおりとします。

(2) 連携する視点、期待される効果

連携する視点	施策項目		期待される効果
地域と学校の連携	学校教育	【施策項目20】 学校と地域の連携・協働の充実	地域の住民が学校運営に主体的にかかわることにより、地域の力を生かした教育活動の実現が図られるとともに、地域住民と子どもたちとの触れ合いや学び合いを通して、その地域に住む一人ひとりが地域貢献の意識を高めることにより、地域全体の教育力の向上につなげる効果が期待できます。
	生涯学習	【施策項目25】 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実	【主な取組】 ・コミュニティ・スクール活動の充実 ・地域学校協働活動推進員の配置による地域学校協働活動の体制整備 ・子どもたちの活動を支える地域人材の登録と活用の促進
家庭の教育力向上	学校教育	【施策項目19】 家庭教育支援の充実	「豊かな心」、「確かな学力」、「健やかな体」の育成には、学校における教科等を通じた指導と合わせて、家庭で規則正しい生活習慣・学習習慣を身に付けさせることが重要です。 保護者に対する情報提供や学習機会の提供を通して、家庭での教育の重要性が認識されることにより、健全な子どもたちの育成が図られるとともに、子どもの成長を実感することで保護者自身の人生が豊かになる効果が期待できます。
	生涯学習	【施策項目27】 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	【主な取組】 ・「千歳市家庭生活宣言」の普及促進 ・家庭への情報発信 ・家庭教育に関する学習機会の提供
ふるさと教育 ふるさと千歳への理解	学校教育	【施策項目10】 ふるさと教育の充実	過去から自分につながる歴史や地域社会における自分の役割を認識することにより、社会の変化に対応し、人とのコミュニケーションを図りながら、生き生きと活躍していくことのできる大人への成長を促すとともに、生涯を通して、地域に誇りを持ち、地域の課題解決や活性化に貢献する人材の育成につなげる効果が期待できます。
	生涯学習	【施策項目31】 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	【主な取組】 ・小学校社会科副読本「私たちの千歳」の活用 ・アイヌ文化学習の推進 ・発展する千歳のまちを知る取組 ・ふるさと千歳の理解を深める学習機会の提供 ・地域課題解決学習の推進

第4章 施策項目・施策の概要

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進 【原案 28～34 ページ】

(1)認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

教師との信頼関係や子どもたち同士によりよい人間関係を育む親和的な学年・学級経営を推進します。

(2)確かな学力の育成

全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の結果分析をもとに、千歳市学力向上検討委員会で授業改善案の検討を進め、学ぶ意欲を高め、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立に努めます。

(3)特別支援教育の充実

特別な教育的支援を必要とする児童生徒を的確に把握し、自立に向けた指導が確実に行えるよう、就学に関する丁寧な相談を通じて適切な就学先の決定に努めます。また、教員の知識向上を目的とした研修の実施や特別支援教育支援員等の配置により、特別支援教育体制の充実を図ります。

(4)外国語教育・国際理解教育の充実

ALT(Assistant Language Teacher:外国語指導助手)の活用により小中学校の英語教育の充実を図るほか、アンカレジ市との相互交流事業等の体験的な活動を含めた国際理解教育の推進に努めます。

(5)情報教育の充実

学習者用コンピュータや電子黒板などのICTを活用したわかりやすい授業の実践とそれらの活用能力の育成を図ります。

(6)キャリア教育・体験的な活動の充実

児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的として、多様な体験的活動を取り入れながら、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成につながる教育活動を推進します。

(7)防災・安全教育の充実

防災、防犯、交通安全など、児童生徒、教職員の安全のための体制を整備するとともに、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できるような教育を推進します。

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 【原案 36～42 ページ】

(8)道徳教育の充実

小中学校における道徳教育について、子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標として、児童生徒の発達段階に応じて、特別の教科 道徳を中心に学校の教育活動全体を通じて行います。

(9)いじめ・不登校に対する取組の充実

千歳市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ根絶に向けて、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取組の推進や、不登校児童生徒の学校復帰を目指すなど、いじめ・不登校問題への取組の充実を図ります。

(10) ふるさと教育の充実

各学校において、地域の人材等と連携しながら、固有の歴史や文化を学ぶことでふるさとへの愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を推進します。

(11) 読書活動の推進

児童生徒の読書への関心を高め、自主的な読書活動を行うことができるよう、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進するとともに、市立図書館や学校図書館における読書環境の充実を図ります。

(12) 体力・運動能力の向上

体育・保健体育の授業の改善を図るとともに、新体力テストの種目を活用した体力づくりを推進し、児童生徒の健康に対する意識を高め、運動習慣や生活習慣の改善を図ります。

(13) 食育の推進

児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるよう、食に関する指導を充実させるとともに、学校給食における地場産品の活用を促進するなど、安全・安心な学校給食の充実に努め、学校における食育を推進します。

(14) 健康教育の推進

児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めます。

基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実 【原案 44～50 ページ】

(15) 学校運営の充実

児童生徒の実態や各種データ等を踏まえた教育課程を編成するとともに、校内組織体制の改善、PDCAサイクルを確立して学校の活性化を図ります。また、教職員の働き方改革の推進に努めます。

(16) 学校施設・設備の充実

学校施設・設備の改修やICT環境の整備・更新を計画的に実施し、安全で快適な学習環境の整備を推進するとともに、市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。

(17) 学びのセーフティネットの構築

社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、専門家や地域の人材を活用した教育相談体制の充実、教育費援助制度の充実を図るとともに、遠距離通学となる児童生徒のためにスクールバス等を運行します。

(18) 教員の研修の推進

教職員の資質向上を目的とした校内外の研修、接続する小中学校が連携した研修活動を推進します。

(19) 家庭教育支援の充実

「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行うことなどにより、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけます。

(20) 学校と地域の連携・協働の充実

学校と地域住民等が「子どもをどのように育てていくか」、「どのような教育を実現していくか」という目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、

「地域とともにある学校」の環境づくりを推進します。

子どもたちの登下校等の安全管理や学校への不審者侵入など緊急事態発生時に関係機関、地域と小中学校が連携した安全確保のための体制づくりを進めます。

(21)学校段階等間の連携・交流の充実

幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校種間の交流、連携を推進します。また、義務教育9年間を見通した系統的な教育活動や小中学校の円滑な接続を目指す小中連携・一貫教育の取組を通して、子ども一人ひとりの学力・体力の向上と豊かな人間形成を図ります。

引き続き公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努めます。

基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進 【原案 52～56 ページ】

(22)多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

学習機会や学習情報の一元化・体系化に向けた学習機会提供者間の連携体制の構築と市民が主体となった地域コミュニティの形成に向けた市民活動相互の交流の場づくりに努めます。

(23)学習情報と市民活動交流センター機能の充実

学習や地域活動の情報の一元化を進め、情報提供や学習相談など市民活動を支援する市民活動交流センター「ミナクル」のセンター機能の充実に努めます。

(24)学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

学習や実践活動を通じてまちづくり活動を支える人材の育成と、活動の成果を認め合う仕組みづくりに努めます。

(25)地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

地域と学校、家庭の連携による地域学校協働活動を推進し、地域ぐるみで子どもを育て、地域住民の生涯学習活動を通じた地域の教育力の向上に努めます。

(26)学んだ成果を地域で生かす活動の充実

まちづくりに関係する機関・団体と連携して、学んだ成果を地域で生かす活動の場づくりや地域活動への橋渡しをする情報提供・相談・コーディネート体制の充実に努めます。

基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実 【原案 58～63 ページ】

(27)乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

家庭教育の役割の理解を深め、家庭教育への参加意識を高める学習や交流の機会の充実と、関係機関との連携や家庭教育を支える人材の育成により地域社会で家庭教育を支える環境づくりに努めます。

(28)青少年の自立と成長を育む学びの充実

地域の人材や関係団体との連携により、青少年の自立と成長を育む体験活動の機会や情報提供の充実に努めます。

(29)青少年非行防止への取組の推進

青少年の健全育成に対する意識啓発を行うほか、学校、家庭、地域及び関係機関・団体と連携し、青少年非行防止への取組を推進します。

(30)成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

社会の変化による生活上の課題に対応する力を高め、仲間とつながりながら意欲的に学び、地域活動への参加意欲を高める学習機会の充実に努めます。

(31)ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

関係機関との連携により、千歳の理解を深める学習機会と、地域づくりにつながる地域課題や現代的課題に対応した学習機会の充実に努めます。

(32)社会教育施設機能と読書環境の充実

誰もが安全で快適に利用でき、社会の変化や市民の多様なニーズに対応した社会教育の場として公民館や図書館などの社会教育施設の機能の充実と子どもから大人まであらゆる世代の市民が読書に親しめる環境づくりに努めます。

基本目標6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承

【原案 66～70 ページ】

(33)文化芸術に親しむ環境の整備

市民ニーズを反映した「自主文化事業」の実施や広域的な連携による文化芸術の鑑賞機会と情報提供の充実とともに、文化芸術施設の計画的な整備に努めます。

(34)地域に根差した文化芸術活動への支援充実

地域に根差した文化芸術活動を行う文化団体の活動を支援するとともに、関係団体と連携して地域の文化芸術活動を支える人材の育成に努めます。

(35)文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

埋蔵文化財をはじめとする文化財の保存及び調査・研究を行うとともに、市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を支援します。

(36)文化財の活用の推進

千歳市にある埋蔵文化財をはじめとする様々な文化財を活用し、積極的な公開や様々な市民ニーズに合わせた事業展開、情報発信を行い、市民が文化財に触れる機会の充実に努めます。

(37)世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進

縄文遺跡群世界遺産登録推進本部・同推進会議の構成員として、登録審査に対応した取組を推進し、世界遺産としてユネスコが認める保護水準を維持した資産保護の取組を進めます。また、キウス周堤墓群が持つ普遍的価値を次世代に向けて確実に継承していくため、資産の適切な公開・活用を推進します。

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進 【原案 72～75 ページ】

(38)スポーツ活動の啓発と参加促進

スポーツ活動への参加を促進するため、スポーツに関する普及啓発と情報提供を行うとともに、スポーツ振興に係る功労者やスポーツ大会での成績優秀者の表彰を実施します。

(39)スポーツに親しめる機会の充実

スポーツイベントやスポーツ教室などを通して、競技スポーツのほか、年齢や体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。また、既存のスポーツ施設の利用を促進するとともに、学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用します。

(40)スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

将来のスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成のため、スポーツ指導者の配置を行うとともに、公益財団法人千歳市体育協会を通じてスポーツ関係団体への助成などを行います。

(41)スポーツ施設の機能充実と利便性向上

既存のスポーツ施設を、誰もが安心・安全に利用できるよう、スポーツニーズに沿った計画的な整備改修、効率的な施設運営を行い、機能充実と利便性の向上に努めます。

学校教育分野と生涯学習分野の連携する視点 【原案 78～80 ページ】

【連携する視点1】地域と学校の連携

施策項目 20: 学校と地域の連携・協働の充実

施策項目 25: 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

(期待される効果)

地域の住民が学校運営に主体的にかかわることにより、地域の力を生かした教育活動の実現が図られるとともに、地域住民と子どもたちとの触れ合いや学び合いを通して、その地域に住む一人ひとりが地域貢献の意識を高めることにより、地域全体の教育力の向上につなげる効果が期待できます。

【連携する視点2】家庭の教育力向上

施策項目 19: 家庭教育支援の充実

施策項目 27: 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

(期待される効果)

「豊かな心」、「確かな学力」、「健やかな体」の育成には、学校における教科等を通じた指導と合わせて、家庭で規則正しい生活習慣・学習習慣を身に付けさせることが重要です。

保護者に対する情報提供や学習機会の提供を通して、家庭での教育の重要性が認識されることにより、健全な子どもたちの育成が図られるとともに、子どもの成長を実感することで保護者自身の人生が豊かになる効果が期待できます。

【連携する視点3】ふるさと教育 ふるさと千歳への理解

施策項目 10: ふるさと教育の充実

施策項目 31: ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

(期待される効果)

過去から自分につながる歴史や地域社会における自分の役割を認識することにより、社会の変化に対応し、人とのコミュニケーションを図りながら、生き生きと活躍していくことのできる大人への成長を促すとともに、生涯を通して、地域に誇りを持ち、地域の課題解決や活性化に貢献する人材の育成につなげる効果が期待できます。